

## まだ...ホットでない

ここに挙げられた5つのストレージ技術は、温度が上昇中とはいえ、今年のホットな技術として並べられるほどホットではない。多分来年...いや再来年になるかも知れない。

技術	判定
NVMe over Fabric	NVMeは2016年の半ば頃、半導体ストレージの最大のニュースになった。さらにそのあとすぐ、製品がリリースされた。しかし、機器の結合組織であるNVMe over Fabric市場に出るまで時間がかかるだろう。我々はそれが2018年より先になるだろうと見ている。
フラット バックアップ	フラット・バックアップ、バックアップレス・バックアップ、ノーバックアップ・バックアップ、呼び方はともかくこの技術は素晴らしい。従来のバックアップ処理を回避しつつ、より高速にデータを保護するからだ。しかし、バックアップの習慣が変わる速度は、とてもとても遅い。
ストレージクラス メモリー	永続的な半導体ストレージと揮発性のサーバー・メモリーをブリッジするストレージクラス・メモリーは、空いているDIMMソケットを埋め尽くし、ダイナミックRAMとストレージの境界線をぼかしてしまうだろう。ただし、それはしばらく先のことだ。
分離ストレージ	ちょっと、我々は共有ストレージが発明された時、サーバーからストレージを切り離れたんじゃなかったのか？どこのベンダーがこの新しい専門用語で儲けをたくらんで、とか聞きたくもない。考え方は素晴らしいかもしれないが、まだホットではない。
ストレージ予測分析	ベンダー諸君、2016年はデータをただのゼロと1のかたまりとして扱うのを止める年だったのじゃなかったのかい？ 数年前、我々が組み込み型解析エンジンを持ったスマート・ストレージについて書き始めた時、市場にはわずか数製品があるだけだった。今市場にあるのも、わずか数製品のままだ。